

## 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあい げきだんなかま 企業組合 劇団仲間		団体ウェブサイトURL <a href="http://www.gekidan-nakama.com/">http://www.gekidan-nakama.com/</a>
代表者職・氏名	代表理事 田中誠		
制作団体所在地	〒 164-0012	最寄り駅(バス停)	新中野
	東京都中野区本町4-26-5 Sビル202		
電話番号	03-4405-2453		
ふりがな 公演団体名	げきだんなかま 劇団仲間		団体ウェブサイトURL <a href="http://www.gekidan-nakama.com/">http://www.gekidan-nakama.com/</a>
代表者職・氏名	代表理事 田中誠		
公演団体所在地	〒 164-0012	最寄り駅(バス停)	新中野
	東京都中野区本町4-26-5 Sビル202		
制作団体 設立年月	1953年 4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 田中誠 専務理事 二瓶美江 理事 村井裕 飛田晃治 三橋怜子 監査 池田舞 大和田遥奈 劇団仲間 運営委員会7名		▽演技部劇団員 32名▽演出部劇団員 1名 ▽制作部劇団員 2名▽事務局員 1名 準劇団員は1年制以上の俳優養成機関の修了者を準劇団員として採用。演出部は1年間の研修期間を経て劇団員として採用。
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	田中誠
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	三橋怜子

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和28年4月。俳優座養成所(2期生)卒業生が講師の中村俊一を中心にして劇団仲間を結成。昭和44年に企業組合として法人化。新劇公演、児童青少年演劇公演を全国に展開し今日に至る。 平成6年度(第49回)芸術祭賞を「モモと時間どろぼう」で受賞。 平成13年度東京都優秀児童演劇選定優秀賞、平成17年度児童福祉文化賞推薦作品を「カモメに飛ぶことを教えた猫」公演で受賞。 平成19年度厚生省中央児童福祉審議会児童福祉文化財を「飛ぶ教室」で受賞。 平成22年度児童福祉文化賞推薦作品を「森は生きている」公演で受賞。 平成26年度厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財認定「空の村号」</p>					
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成28年8月「小さい“つ”が消えた日」夏休み児童・青少年演劇フェスティバル参加 平成29年5月「小さい“つ”が消えた日」葛飾区立梅田小学校、千代田区立富士見小学校、練馬区立石神井西小学校、墨田区立隅田小学校、川崎市立大谷戸小学校 平成29年6月 所沢市立上新井小学校、桐朋学園小学校、横浜市立中沢小学校 墨田区立外手小学校、墨田区立第三寺島小学校 他年度内「小さい“つ”が消えた日」小学校体育館公演35回 平成30年5月「小さい“つ”が消えた日」墨田区立東吾嬬小学校 「給食番長」昭島市立拝島第二小学校 平成30年6月「小さい“つ”が消えた日」小平第四小学校 他年度内「小さい“つ”が消えた日」小学校体育館公演13回 「給食番長」小学校体育館公演18回 令和元年「小さい“つ”が消えた日」文化芸術による子供育成総合事業15回 他年度内「小さい“つ”が消えた日」小学校体育館公演5回 「給食番長」小学校体育館公演21回 令和2年「小さい“つ”が消えた日」文化芸術による子供育成総合事業16回 「給食番長」小学校体育館公演8回 令和3年「小さい“つ”が消えた日」文化芸術による子供育成総合事業11回 子供のための文化芸術鑑賞・体験事業 8回</p>					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>長崎県立虹の原特別支援学校(平成23年11月・平成25年10月) この公演は担当先生との打ち合わせで通常通りの公演を行いました。</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://www.kodomogeijutsu.go.jp/video/theater/i101.html">https://www.kodomogeijutsu.go.jp/video/theater/i101.html</a></p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="932 1776 1007 1823">ID:</td> <td data-bbox="1007 1776 1437 1823"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="932 1823 1007 1859">PW:</td> <td data-bbox="1007 1823 1437 1859"></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団仲間 】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	舞台劇 小さい“つ”が消えた日				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「小さい“つ”が消えた日」 原作：ステファノ・フォン・ロー（三修社刊） 脚本／演出 鈴木雄太 音楽：芳賀一之 振り付け：川又真理子				公演時間 75 分
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況		
演目概要	<p>～いらぬ子なんていない！みんなそろって五十音！～</p> <p>ひらがなたちが集まって暮らす五十音村では自慢話で盛り上がっていました。そんな中、小さい“つ”は音にならない文字なんて必要ないとからかわれ、五十音村を飛び出してしまいます。すると人間の世界ではおかしいことが起こりました。弁護士が「訴えますか？訴えませんか？」と言おうとすると、「歌えますか？歌えませんか？」となってしまう依頼人は怒り出します。横綱も「はげよい、のこた」では力が入らずに負けてしまい日本語は大混乱！はたして小さい“つ”は五十音村に戻ってくるのでしょうか？</p>				
演目選択理由	<p>観劇後、自己肯定感について考える時間が増えることを願って、この作品に取り組んでまいりました。そして“思いを伝える”ということがどれほど大切なことか、誰かとコミュニケーションをとる事のできる喜びはどんなものか、コロナ禍にある今だからこそ舞台表現で発信できるよう努めてまいりました。</p> <p>これらの取り組みが、この事業に必要な要素ではないかと考え、「小さい“つ”が消えた日」を選択いたしました。舞台劇が楽しいものだと感じられるように、歌や踊りなどエンターテインメントの要素を意識した作品作りを心がけています。</p> <p>小さい“つ”は音で表すことは出来ませんが、文字と文字とを「つなぐ」役割を持っています。小さい“つ”のなくなった人間世界をユーモアに表現しながら、人にはそれぞれ役割があり、個性や存在意義があるということに気づきます。そしてお互いを尊重し合うことで社会が成り立っていることが見えてきます。また、五十音村のメンバーが“つ”に帰ってきてもらうためにどんな行動をしたかを観ることで、お互いを認め合うことの大切さを子どもたちに感じてもらいたいと願っています。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>学校とは密な連絡を取り、より良い児童・生徒の共演、参加の形態がとれるよう努めます。ワークショップ参加の子ども達は文字のキャラクターとなって舞台に参加します。公演後バックステージツアーを行い、実際に舞台の上に立ってもらって演技する側の気分を味わってもらいつつ児童・生徒との交流をします。舞台参加については照明や音響も交えて舞台稽古を行い、本番中の安全を確認します。公演終了後はキャストが退場口に行き、子ども達との交流をはかります。</p>				
出演者	飛田晃治、鎌田睦大、小倉輝一、田中誠、二瓶美江、浜谷真理子、池田舞大和田遥奈、堀越ふみの				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 9 名	運搬	積載量： 4 t	2t	
	スタッフ： 8 名		車長： 9 m	6m	
	合計： 17 名		台数： 2 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		4	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時	13時30分～14時45分	0分	14時45分～16時45分	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	22日	14日	7日	20日	21日	
	11月	12月	1月	計	96日	
	7日	0日	5日			

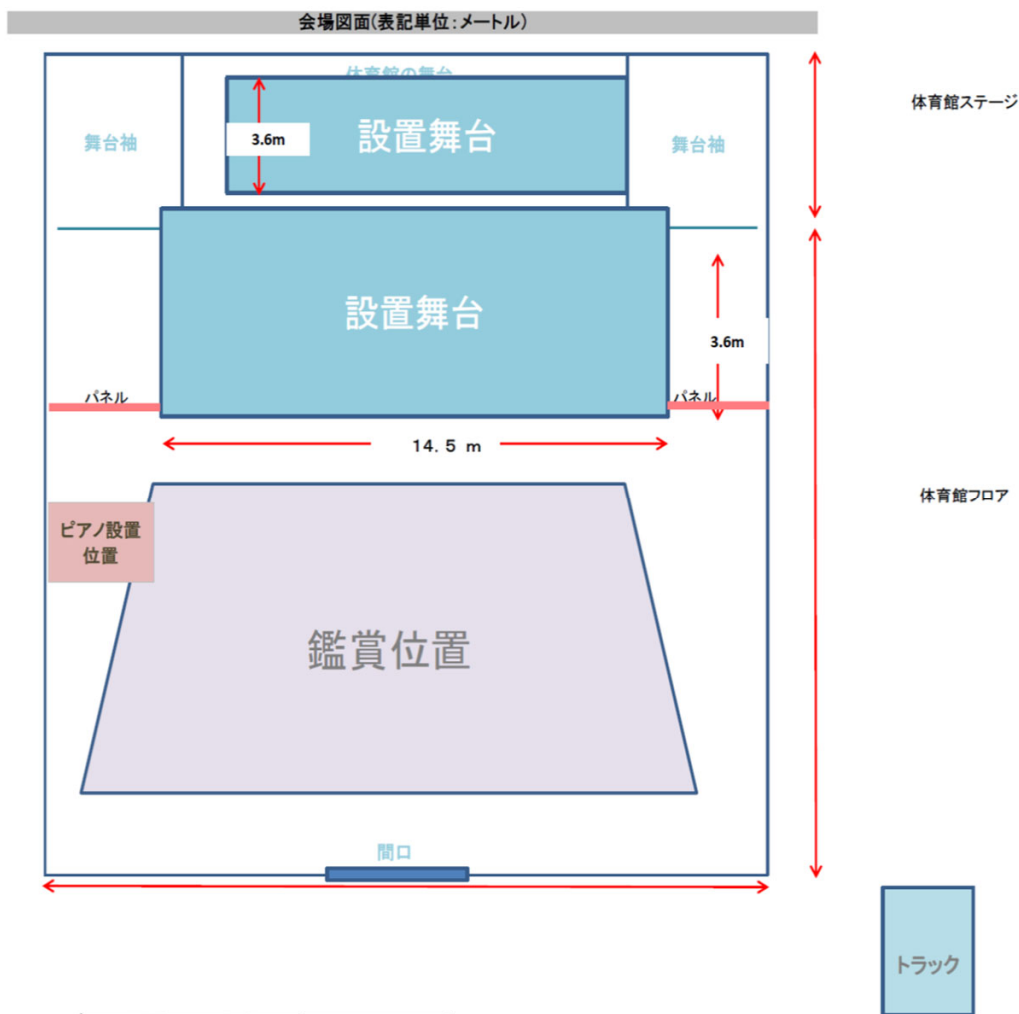
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	30名 (ワークショップのみの参加は応相談)
		鑑賞人数目安	500名

別添に舞台写真あり

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



## 【公演団体名 劇団仲間 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名(1学年程度)
<p><b>ワークショップ 実施形態及び内容</b></p>	<p>1, 準備運動として簡単なゲームをします。 例) アイコンタクトを用いたゲーム (輪になって決められたお題を目を見て隣に伝えていきます。慣れてきたら同時に2方向に回します)</p> <p>相手との信頼関係を育むゲーム (2人組になり手のひらを触れない程度に合わせて片方が相手を誘導し、誘導される側は、相手に動きを委ねます。誘導する側はまわりとぶつからないようにします。慣れてきたら手と顔で同じことをします)</p> <p>チームプレイが大切なゲーム (2人組になり向かい合って縦方向と横方向で手をぶつけないように手拍子を打ちます。さらに参加者全員で音が重なるように、耳元に集中し、思いを一つにします)</p> <p>想像することを楽しむゲーム (与えられたお題を瞬間的に判断して体を動かします) etc</p> <p>2, 劇中の参加シーンの練習をします。 ※劇中の参加人数については制限させていただく場合があります。</p>		
<p><b>ワークショップの ねらい</b></p>	<p>1, ゲームを通じて遊ぶことで声を出すことやコミュニケーションをとることの大切さを感じてもらいます。目を見て思いを相手に伝え、受け止めることで協調性を養います。ゲームをしながら身体を動かすことで想像力を刺激し、また、心身の解放を目指します。以上のゲームは劇作りにも大切なことだと感じてもらいます。 参加シーンの練習では1, のゲームを踏まえ、文字のキャラクターになってもらいます。そのときには文字の性格を考えたり、小さい“つ”がないと言葉がどうなるのかを子ども達の自由な発想と自主性を尊重しながら一緒に考えてシーンを創ります。</p>		
<p><b>その他ワークショップに 関する特記事項等</b></p>	<p>特別支援学校での実施についてか学校と綿密な連絡を取り、通常通りの公演をいたします。必要であれば台本を提供し、PC等を使い舞台上の進行を追えるようにします。</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名 劇団仲間】
項目内容	舞台写真	
		